

# 日本人が知らない世界の「水問題」

## 水ジャーナリスト (アクアスフィア代表)



橋本淳司さんに聞く

水ジャーナリストとして活躍する、アクアスフィア代表の橋本淳司さんは、日本国内や世界各地の水資源などを取材し、水をテーマにしたルポやエッセーを多数執筆しています。各地で行う橋本さんに、世界の水問題について聞きました。

## 1日平均 約250リットルを使用

由來した下痢で死ぬ子どもの方が多い」というデータもあります。こうした事実を知った私は、水問題の現状を伝え、賢い水利用を考える一助になればと、2000年ごろから各地で「水の授業」を行うようになりまし



授けられた「水の授業」の様子。橋本淳司さん(写真はいずれも本人提供)

蛇口を、角度にして90度ひねり、1分間使用すると約12リットルの水が流

## 持続可能な社会の構築を

世界の水紛争の多くは、国際河川の流域で発生してきました。国をまたぐ国際河川は、世界中に263本あり、国内に国際河川が流れる国は143カ国もあります。国際河川の上流にある強国が悪いのま

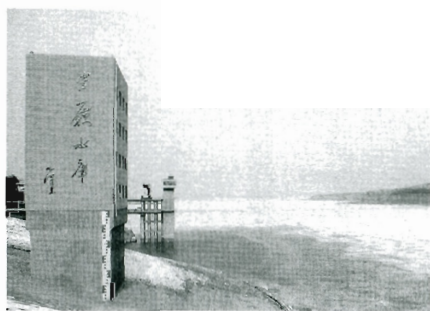
# 「バケツ1杯」は 命の基本単位

## 「目薬1滴分」を奪い合う

国内の水道の味に興味を持ち、各地の水源地や浄水場を見て歩いてきた私は、パキスタンでの取材を機に、世界の水問題に目を向けるようになりました。日本人は水道や下水道の存在を当たり前のよう

日本は年間降雨量も多く、水に恵まれた国です。一方で、1日の水使用量が不足しているのです。

用量(1人当たり)が30リットル以下という国が世界には約40カ国もあります。世界では約5億人が水不足に苦しみ、2050年にはその人数が40億人になるといわれています。では「水の質量」といわれる地球や北極で凍っている



中国・北京の水源地である「官庁ダム」。水位が低下し、ダム湖底が見えるほど(2010年3月)

## 存在感なく出遅れている日本

1000年前、T型ラオードの第1号が世に送り出された。これがその後、「ビッグスリー(米自動車大手3社)」に代表される自動車産業として急成長した。これに歩調を合わせたのが石油産業。競合する鉄道会社を買収し破たんさせてまで成長したことが知られている。こうして20世紀は、自動車と石油の世紀となった。その自動車産業の象徴であるビッグスリーは、2009年

## よく分かる自然エネルギー

環境エネルギー政策研究所長 飯田哲也